

高等部 2年生 職業 年間計画

【1段階】

| 指導内容 | | 単元名 (仮) |
|---|--|---|
| A 職業生活 | ア 勤労の意義 ：勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動 (ア) 勤労の意義を理解すること。 (イ) 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。 (ウ) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。 | ※1 「1自分のこと」 「2働くこと」 「3働くために」 |
| | イ 職業 ：職業に関わる事柄について、他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動 (ア) 職業に関わる知識や技能について、次のとおりとする。 ⑦ 職業生活に必要な実践的な知識及び技能を身に付けること。 ⑧ 職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解すること。 ⑨ 材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解すること。 ⑩ 使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うこと。 ⑪ 作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業すること。 (イ) 職業生活に必要な思考力、判断力、表現力等について、次のとおりとする。 ⑫ 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現すること。 ⑬ 生産や生育活動等に関わる技術について考えること。 ⑭ 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ること。 ⑮ 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えること。 | 基本は※1を参考に進め、項目に応じて、『ひとりだちするためのトラブル対策—予防・回避・対処が学べる—』、『ひとりだちするためのビジネスマナー&コミュニケーション』、『ひとりだちするためのライフキャリア教育』を追加活用する。 |
| | B 情報機器の活用 ：職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱うことに関わる学習活動 ア 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱えること。 イ 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表すること。 | |
| C 産業現場等における実習 ア 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解すること。 イ 産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現すること。 | ※1 「5現場実習」 基本は※1を参考に、『ひとりだちするための就労支援ノート』を追加活用する。 | |
| 【2段階】 | | |
| A 職業生活 | ア 働くことの意義 ：勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動 (ア) 勤労の意義について理解を深めること。 (イ) 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。 (ウ) 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むこと。 | ※1 「3働くために」 「4進路を考える」 「6社会人になる」 |
| | イ 職業 ：職業に関わる事柄について、他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動 (ア) 職業に関わる知識や技能について、次のとおりとする。 ⑦ 職業生活に必要な実践的な知識を深め技能を身に付けること。 ⑧ 職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深めること。 ⑨ 材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めること。 ⑩ 使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱うこと。 ⑪ 作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業し、習熟すること。 (イ) 職業生活に必要な思考力、判断力、表現力等について、次のとおりとする。 ⑫ 作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現すること。 ⑬ 生産や生育活動等に係る技術に込められた工夫について考えること。 ⑭ 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ること。 ⑮ 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えること。 | 基本は※1を参考に進め、項目に応じて、『ひとりだちするためのトラブル対策—予防・回避・対処が学べる—』、『ひとりだちするためのビジネスマナー&コミュニケーション』、『ひとりだちするためのライフキャリア教育』を追加活用する。 |
| | B 情報機器の活用 ：職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱うことに関わる学習活動 ア 情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作すること。 イ 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現すること。 | |
| C 産業現場等における実習 ア 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めること。 イ 産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現すること。 | ※1 「5現場実習」 基本は※1を参考に、『ひとりだちするための就労支援ノート』を追加活用していく。 | |

【参考】 ※1：『ひとりだちするための進路学習—あしたへのステップ—』 日本教育研究出版